

活き生き若槻 みんなでトークを開催しました



8月26日(火)に「活き生き若槻 みんなでトーク」(旧元気なまちづくり市民会議)を開催し、市長はじめ市側の出席者も含め85人が参加しました。

テーマは「若槻まちづくりについて」で4つのサブテーマに分けて議論を行いました。

サブテーマ①

若槻コミュニティセンターの建替(増築)について

市内で最も利用者が多い公民館(平成25年度66,544人)でありながら、エレベーターもなくバリアフリーに対応していないこと、100人を超える集會等を行う体育館では、プロジェクターが見えないこと等の実情を訴え、建て替えを要望しました。また、早期の建て替えが困難な場合は、エレベーター、集會室を備えた増築(現公民館南側)を提案しました。

市は、増築という新たな提案があったことから持ち帰り検討した上で、また相談することとなりました。

サブテーマ②

農業振興策のビジョンづくり

市としての若槻地区の農業振興策についての考えを聞くとともに、若槻地区を対象とした具体的な農業振興策を策定するため、地区と市が協働で検討するプロジェクトの立ち上げを提案しました。

市は、長野市全体としての農業振興策は考えているが、それぞれの地区ごとの具体的な振興策までは検討できておらず、今

回の提案に賛同し、協力して若槻地区の農業振興策を考えていきたいとの回答でした。

サブテーマ③

道路網の整備と公共交通機関の充実について

長野豊野線の道路整備に伴う、皐月保育園の問題、若槻地区周辺で進む幹線道路網の整備後の交通安全対策、長電バス牟礼線の廃線問題、及び利便性の良い公共交通機関の充実を図る施策について市の見解等を聞きました。

市からは、皐月保育園については後日の回答、交通安全対策は地元から具体的に提案があれば一緒に検討していくこと、牟礼線に地元の皆さんが乗ってほしいこと、公共交通については10年先を見据えた市の公共交通ビジョン策定を検討しているため、その際には協力してほしいとの回答がありました。

サブテーマ④

「いきいき交付金」について

「いきいき交付金」は世帯数に応じた算定だけでなく、やる気があり、積極的に事業を進める地区へは継続的な上積み等を検討してもらうよう要請しました。

市からは、「いきいき交付金」制度は5年が経過して、色々な意見が寄せられている。財源に限度はあるが、それを踏まえて、各住自協の意見を聞きながら見直しを検討していきたいとの回答がありました。

(区長部)



健康な暮らしに光を!

ぴっかり教室(全11回)

長野市包括支援センター若槻ホーム } 共催
コミわか健康部会

●●● 知って安心これからの知恵 ●●●

◆場所 若槻コミュニティセンター大会議室 ◆時間 10時~11時30分

回	日程	内容
8	11月19日(水)	財産や権利を守るために ~相続や遺言について~ 司法書士 宮川洋一先生
9	12月17日(水)	認知症と転倒の予防体操 ~頭と体を同時に鍛えよう~ 社会福祉法人 博悠会 フランセーズ悠よしだ 施設長 田中 武一先生

8回目はなかなか人に聞きにくい相続や遺言についてのお話、9回目は寝たきりのきっかけになる転倒を予防しながら同時に頭も一緒に使う楽しい体操を予定しています。

※教室は無料で、申し込みも不要です。また、1回のみ参加でも結構です。

報告

7月~9月開催のぴっかり教室は、3回にわたり認知症を取り上げました。劇団わかづきの人形劇によるわかりやすい説明の後、「宅老所、手と手」の原山直人さんに具体的な事例や映像を用いながら解説していただきました。

たとえば、症状があっても人としての感情が消えることはなく、本人は大変つらい思いをしているというお話は、重く、胸に迫りました。認知症を正しく理解することの大切さを学びました。

9月の講座は、長野音楽療法研究会の室川裕子さんにご指導いただき、音楽療法を体験しました。懐かしい歌とリズムで脳をリフレッシュ。素晴らしい歌声が会場に響きました。楽器の演奏は全員(健康部会)



(健康部会)